

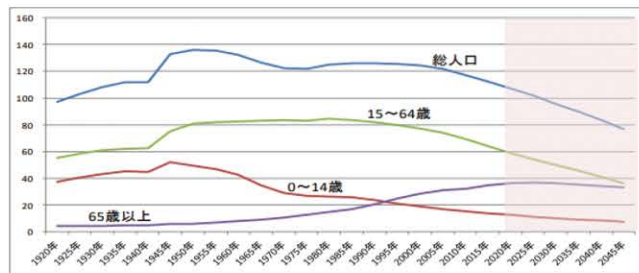
資料編

■組織と事業の推移

年度	組合員数 (人)	班数 (班)	組織率 (%)	出資金額	供給高	主な出来事
2010	143,055	12,463	36.8%	33億9,566万円	213億8,784万円	移動販売車「せいきょう便」スタート
2011	146,742	12,469	37.5%	34億9,692万円	205億3,886万円	夕食宅配事業スタート
2012	151,364	12,566	38.6%	35億9,067万円	200億1,005万円	食品の放射性物質自主簡易検査を開始
2013	154,615	12,584	39.2%	35億9,887万円	199億4,063万円	山形県と「地域の見守りに関する協定」を締結
2014	154,417	12,726	39.2%	36億3,921万円	195億133万円	再生可能エネルギーについての取り組み方針を確認
2015	156,311	12,781	39.5%	36億7,747万円	195億3,745万円	山形県 地域生協設立 60周年。
2016	157,438	12,844	39.9%	37億1,159万円	188億906万円	共同墓地・納骨堂「こ〜ぶ協同の苑三川」開設
2017	158,875	12,917	40.1%	37億7,019万円	193億3,558万円	医療生協やまがたと生協共立社連携協定調印
2018	158,876	12,853	40.2%	37億7,112万円	195億4,731万円	コープでんき販売スタート
2019	160,040	12,699	40.0%	37億7,087万円	196億249万円	軽トラックの移動店舗1号車を鶴岡地域で導入
2020	160,750	12,445	40.0%	39億4,039万円	209億8,506万円	共同墓地・納骨堂「こ〜ぶ協同の苑山形」開設

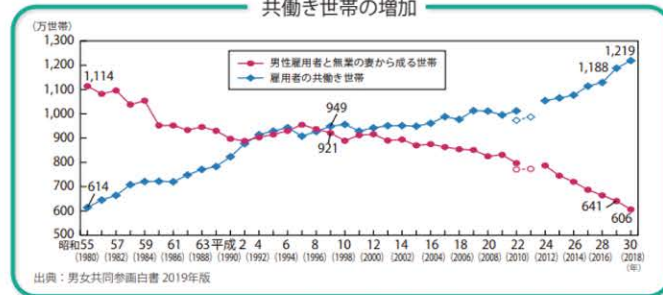
■くらしの変化

【図表2 年齢3区分別人口の推移（山形県）】



【出典】2015年まで 総務省「国勢調査」
2020年以降 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(H30)

共働き世帯の増加



出典：男女共同参画白書 2019年版

■組合員アンケートより

子育て世代の組合員を対象に、今の生協への満足度と将来に向けての期待についてアンケート調査を実施しました。

～10年後、どんな暮らしをしたいと思いますか？

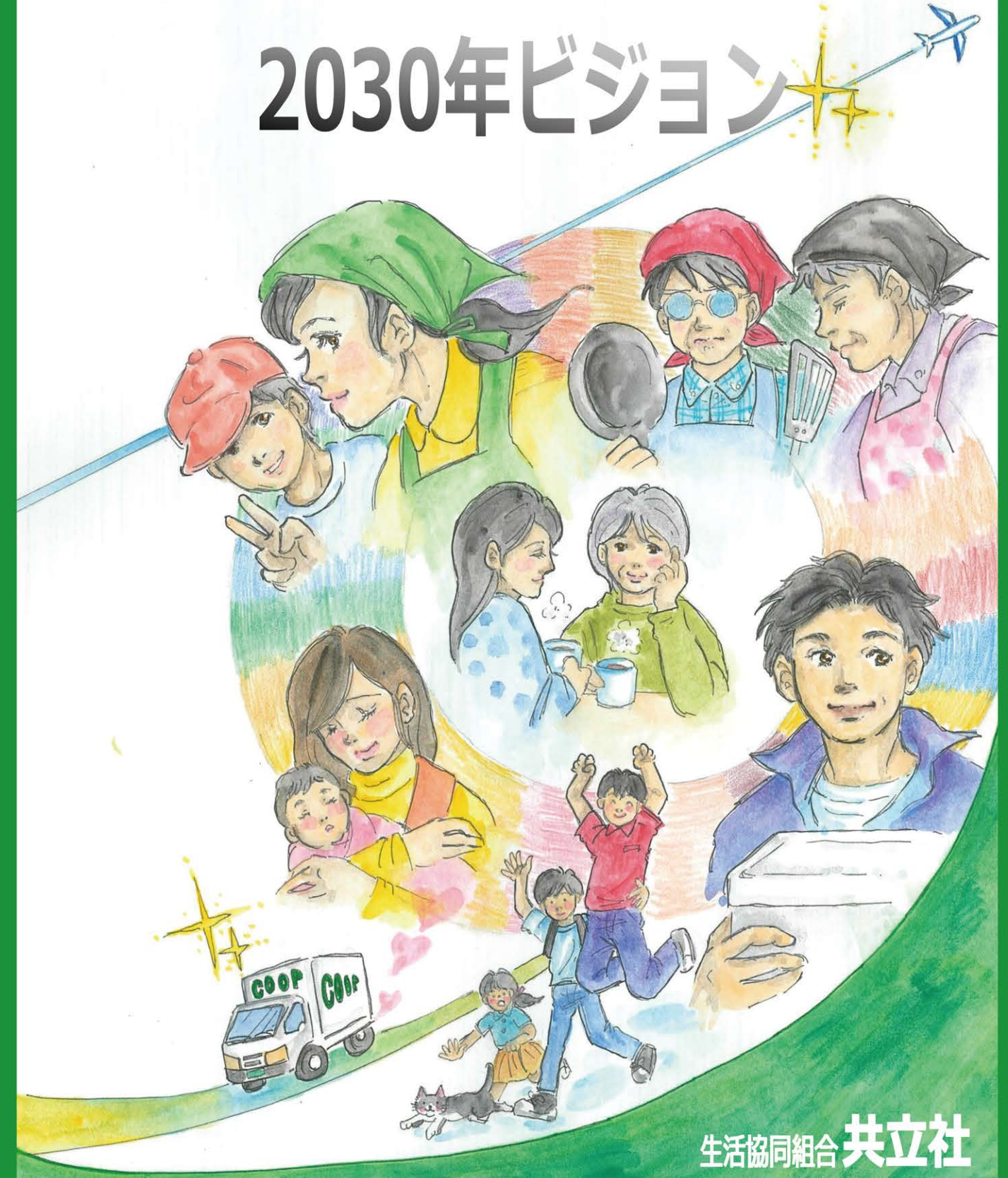
- ・笑顔で優しいママになっていた。
- ・子育てや仕事などの時間に追われず、周りに目配り気配りのできるゆとりのある暮らし。
- ・子育ても終わり、ゆったりと穏やかでイキイキとした日々を過ごしたいです。
- ・家族みんながこのまま健康で元気な姿で暮らしたい
- ・子供達が自分らしくそれぞれの個性を尊重してもらえる社会
- ・経済的にも時間的にもゆとりのある暮らし

～今後、生協に期待することを教えてください

- ・安全、安心な商品の品揃えと、適正な価格で、子育て世代や高齢者に寄り添ったサービス
- ・子育て中ですので、生協さんのサービス、商品に大変助けられています。食の安全安心、環境に配慮した商品開発、地域に根ざした商品の紹介など今後とも力を入れていただきたいです。
- ・これからも下処理済み食材やゴミが少なくなるパッケージなどひと手間便利、簡単な食材や商品を利用していきたいです。
- ・生協の個人宅配に加入して、自由な時間が増えた。これからどんどん品揃えを増やして欲しい。
- ・毎日の弁当に悩んでいるのは私だけではないはず。お弁当におススメとか、様々、ニューおかずを教えて欲しいです。
- ・いつも宅配していただき感謝です。小さいこどもがいるので、チャイムを鳴らすかどうか気を遣っていた事が嬉しかったです。今後も、ただ配達するだけでなく、そういった小さい事に気を遣っていただける宅配であってほしいと思います。

～ともにつくる 持続可能な未来～

2030年ビジョン



生活協同組合 **共立社**

生協共立社 2030年ビジョン作成について

生協共立社は協同の力で「平和とより良い暮らし」の実現を目指し、「いつまでも住み続けられるまちづくり」を掲げ、さまざまな事業分野や業種の協同組合間で連携し、くらしや地域社会を守るさまざまな事業・運動を組合員とともにすすめてきました。これまでの理念やスローガン、国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)を土台としながら、10年後に共立社のありたい姿を描いたものが「生協共立社 2030年ビジョン」と、医療生協やまがたとの連携協定の具体的な実践として策定した「協同のあるまちづくり 2030年ビジョン」です。